

令和五年度

前期日程

国語問題 (H・F・J・E)

〔注意〕

- 一、問題冊子及び解答用冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
- 二、受験番号は、解答用紙の受験番号欄(計六か所)に正確に記入すること。
- 三、問題冊子のページ数は、表紙を除き合計十六ページである。脱落している場合は直ちに申し出ること。
- 四、解答用冊子には解答用紙二枚と白紙一枚が一緒に折り込まれている。解答用紙をミシン目に従って切り離すこと。
- 五、解答は、解答用紙の指定されたところに記入すること。
- 六、問題冊子の下書き欄及び余白は、適宜下書きに使用してよい。
- 七、解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 八、問題冊子及び白紙は持ち帰ること。

令和5年度 一般選抜

問題訂正

【 前期日程 国語 (H・F・J・E) 】

12ページ 3行目を1文字分、上に詰める

(誤) 「^(注1)松尾桃青が、

馬に寝て残夢月遠し茶の烟

の句は、^(注2)眉山が早行の詩の「馬上続残夢」といふ句を・・・」

(正) 「^(注1)松尾桃青が、

馬に寝て残夢月遠し茶の烟

の句は、^(注2)眉山が早行の詩の「馬上続残夢」といふ句を・・・」

I

次の文章を読んで、後の問い(問一～問五)に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部(a)～(d)のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部(1)について、AI革命とは、コンピューターが速く賢くなるだけでなく、さらにどのような現象でもあるのか。「コンピューターが [] 現象でもある。」という文になるように、本文中の五〇字から六〇字(句読点を含む。)の箇所をそのまま抜き出して、 [] を埋めなさい。

問三 傍線部(2)について、著者はなぜそのように考えるのか。その理由を一二〇字以内で述べなさい。

問四 傍線部(3)について、AIの「接続性」とは何か。本文の内容をふまえて五〇字以内で説明しなさい。

問五 傍線部(4)について、AIの「更新可能性」とは何か。本文の内容をふまえて二五字以内で説明しなさい。

Ⅱ

次の文章を読んで、後の問い(問一、問二)に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部(1)の「国境を越える難民の激増」という現象について、本文中のメタファーを用いて、四〇字から六〇字で説明しなさい。

問二 傍線部(2)にあるように、既存のメタファーに新たな思考と表現を加える事例として、著者自身は「渦」というメタファーにどのような新しい思考と表現を加えたか。一〇〇字から一二〇字で説明しなさい。

問三 傍線部(3)について、「その中間にいる」とはどういう状態であるか。人生を航海になぞらえ、「流れ」と「船」の関わり方のイメージを用いて、一五〇字から一七〇字で説明しなさい。

Ⅲ

次の文章は、明治期に著された中村秋香『秋香歌かたり』の一節である。これを読んで後の問い（問一～問五）に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

著作権処理中のため、公開できません。

問一 傍線部(1)「なでふたはことぞや」を現代語訳しなさい。

問二 傍線部(2)「よるところ同じ」について、何と何とが、どのように同じであるというのか、説明しなさい。

問三 傍線部(3)について、なぜ「錆洗ふ前を」といはざるべからず」と言うのか。「前を」とした場合と、「前に」とした場合とで、「言外」に感じられるものが、どのように違うのかを示しながら説明しなさい。

問四 傍線部(4)について、「『よの中』といふにかなり」とある「かかり」が、文法的に「言う」にかかる(修飾する)ではないことに注意して、どのようなことを言っているのか、説明しなさい。

問五 傍線部(5)「共に面白き」と言っているのは、どのようなことと、どのようなことが、どのような共通点をもつ話として「面白き」と言っているのか、説明しなさい。